

オンラインでの相互コミュニケーションに革新を 業界初！グループワークの話し合いをリアルタイムで見える化 教育・研修を支援するシステムの共同研究に着手

株式会社フォーカスシステムズ（東京都品川区、代表取締役社長：森啓一、以下「当社」）は、ハイラブル株式会社（東京都豊島区、代表取締役：水本武志、以下「ハイラブル社」）と、グループワークにおける話し合いの様子をテキストやグラフ等で“リアルタイム”に見える化し、講師のファシリテーションを支援する教育・研修システムの共同研究に着手しました。遠隔地にいる講師がグループ単位で“リアルタイム”に把握できる本システムは業界初となります。

本研究により、「複数の遠隔地間をオンラインでつなぎ、リアルタイムで各グループのディスカッションを活性化させたい。満足度やフィードバックの質を高めていきたい。」等のニーズに応えます。グループワークにおける参加者の発話内容等を講師がオンラインで“リアルタイム”に把握し、参加者に対するきめ細やかなフォローを可能とする等、講師が参加者に寄り添えることで利用者の満足度及び教育・研修品質の向上につなげます。

本研究は、新しい生活様式への転換に伴うオンラインの活用や、教育現場・企業研修におけるアクティブラーニング・チームビルディングで参加者が能動的に取り組むことを期待する主催者ニーズの高まりを受け着手したものです。音環境分析技術*1・議論分析技術*2をコア技術にもつハイラブル社と、企業の個別要望に細やかに応えることができる独立系 SIer である当社とのコラボレーションならではの取り組みです。

当社は、これまで培ってきたシステムの開発実績から、本システムにおける“話し合いの可視化”“字幕の生成”“アラートの発動”“集約したデータの統合表示”等を担い、さらに実証実験を経て、最適な形で製品・サービス化を目指します。なお、本研究成果により生じる知的財産権は当社とハイラブル社とで共有し利用することとなります。

*1・2 共にハイラブル社の特許技術

「音環境分析技術を用いた遠隔対面ハイブリッド教育支援システム」の概要（次頁イメージ参照）

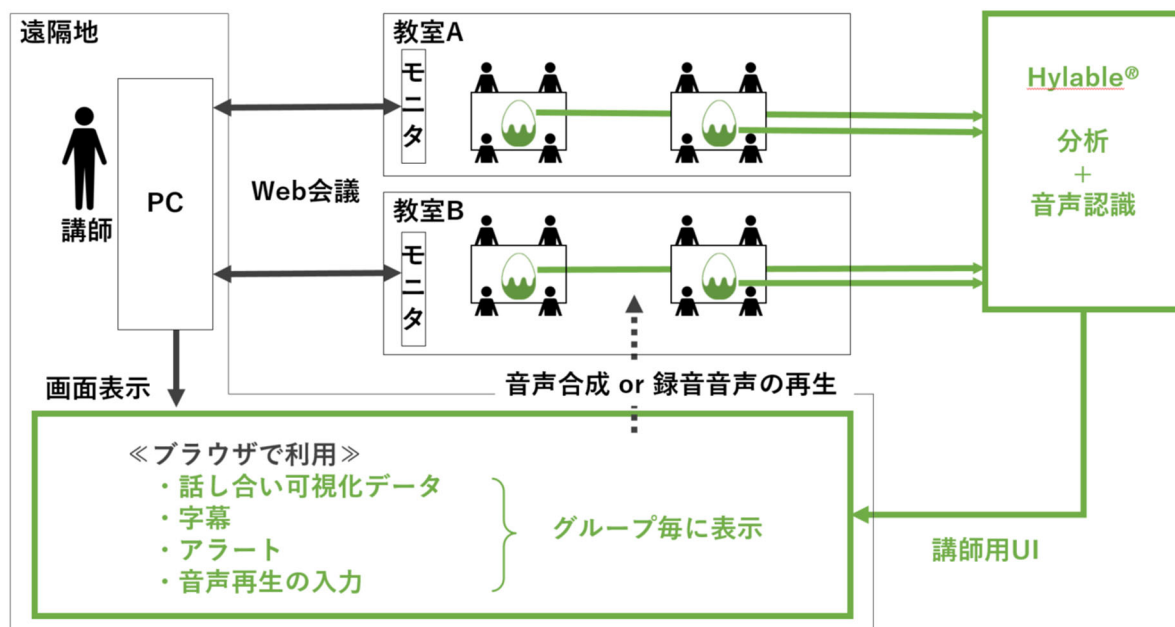
【オンラインにおける利用者ニーズ】

- 講師は各グループでの話し合いの様子を、その場で見てるように具体的に知りたい。
- 講師と各グループとで個別にコミュニケーションしたい。

【本システムの要点】

- 話し合いの様子を講師の PC 上に、グループ単位・個人単位でリアルタイムに表示
 - ・参加者個人単位での発話の量、内容のテキスト化
 - ・アラート 例：参加者の沈黙、特定キーワード等
- 講師から各グループへのメッセージを音声にして個別に発信
 - ・複数の発信方法
 - 組み込み音声、テキストからの変換、録音の再生等

【本システムのイメージ】



※卵型マイクスピーカー（）の機能 ①参加者の声を入力 ②特定グループに講師からの音声を発信

当社は“テクノロジーに、ハートを込めて。”をコーポレートスローガンに、社会が抱える課題にIT技術と真心をもって取り組み、今後も永く社会から信頼される企業であり続けるよう、従業員一丸となって努力を重ねてまいります。

【ハイラブル株式会社 (Hylable Inc.)】

2016 年設立。メディア信号処理やコミュニケーションに関する商品及びサービスの企画・製品・運用・販売・情報提供・コンサルティング等事業を通じ、“音環境分析でコミュニケーションを豊かにする”をミッションに掲げ、話し合いを定量的に見える化するサービスを提供しています。

Web サイト <https://www.hylable.com/>

【株式会社フォーカスシステムズ (Focus Systems Corporation)】 〈東証一部：4662〉

1977 年設立。公共・通信ほか、社会性の高い分野におけるシステム開発・運用に携わるだけでなく、IoT、クラウドや AI 等、時代の流れを見据えたビジネス展開も積極的に推進しています。コーポレートスローガンは“テクノロジーに、ハートを込めて。”人と人との技術でつなぐ私たちフォーカスシステムズの仕事に、社員ひとりひとりが、情熱と誠意を持って臨む姿勢を込めました。

Web サイト <https://www.focus-s.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社フォーカスシステムズ IR・広報室

メール：koho@focus-s.com

T E L：03-5421-7790